西部中ブロック

母親委員だより

令和2年　11月
第1号　担当　春日井小学校

木枯らしが吹き、日増しに冬の近いことを感じさせます。
今年度は、コロナウィルス感染症の影響により活動が大幅に制限されたり、予定を立てることも困難な年となっております。私たち西部中ブロックでは、限られた時間・色々な制約がある中で連絡を取り合いながら、少なくも有意義な時間を共有できました。ここに、活動内容のご報告をさせて頂きます。

◆　1学期　活動報告　◆

7/30（木）	西部中ブロック　新旧委員長引継ぎ	春日井小学校
11/4（水）	西部中ブロック総会 （活動予定・会計計画）	西部ふれあいセンター
11/4（水）	西部中ブロック母親委員会・研修会 『保護者向け　スマホセミナー』 講師：逢楽　安希子先生（㈱luminoso）	西部ふれあいセンター

●「保護者向け　スマホセミナー」●

参加人数を収容人数の半数以下にし、常時換気をしつつ、マスクの着用、手指の消毒にご協力頂き、無事に開催することができました。

講演終了直後は皆さん黙ってしまい、なかなか席を立たれませんでした。それは、先生からの講演内容をご自身のお子様たちに重ねて、何が必要なのか、実行可能なことは今日始めよう！という決意の表れの様に感じました。終了してから、先生を囲んで皆さんの家庭での不安なども出てきて、その度に皆で大きく頷いて先生のアドバイスを伺いました。　自分自身も使っているし、まだ子供は小さいし、色々設定したいけれど、いざとなると面倒だし・・・と良く分からないままネット環境を与えていないでしょうか。　年齢が上がれば子供はどんどん外に出て、色々なところから新しい情報を得てきます。犯罪や問題に巻き込まれないために、保護者がどういう姿勢でいるか、どう声をかけるか、どういう対策が出来るのかを具体的に教えてくださいました。　衝撃的な統計やデータなども交えてお話してくださり、あっという間に時間は過ぎていきました。「スマホね、使い方？まあ、なんとなく知っているし」という気持ちで参加された方は、「衝撃でした・・・」と仰っていました。
ご参加頂いた方のお子様は、下は幼稚園児から上は中学生まで年齢は幅広かったですが、各学校へ持ち帰り、情報が広がると思います。

ご参加頂いた方々のお声　※一部

改めてスマホやタブレットを安心安全に使うために、親がしっかり管理しなくては、と思わされ、気づかされました。まずはこれを機に**子供とスマホ・タブレットについての使い方ルールを話し合ってみたい**と思います。

SNSやゲームの使い方を親子で考えないと、と思いました。半分は親の責任・・・と言われたときにハッとしました。親子や友達との
コミュニケーションは大事です。子供達にも教わったことを伝えたいと思います。

本当にためになるお話で、世界中で子供達の必須科目になりますようにと思うほどでした。中学生にも（子供対象の内容を）受講してもらいたいです。皆で今日のことを広げて行きたいです。

きちんと対策をすれば子供を守れて無駄に怖がらなくても良いんだなと思いました。その為には親も子供自身も知識として知っていることが大事だと思いました。1回教えるだけではなく、継続的な教育が必要だと気付きました。先生の授業を子供達に受けさせたいと思いました。

活動がままならない中で、それこそ私たちはスマホを使用して皆で連絡を取り合い、話し合いをしました。実績となる活動は少なくなりましたが、園児・児童・生徒の保護者で集まり、共通の不安（ゲーム使用の家庭ごとの違い、声掛けの方法など）を話し合う機会を頂きました。今後も、地域の小中学校母親委員間で継続出来ますよう、準備して参ります。
どうぞよろしくお願い致します。